

大学番号：私465

[平成26年度設置]

計画の区分：設置認可

認可

関西福祉大学 発達教育学部 児童教育学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 関西金光学園
平成26年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西金光学園

(2) 大学名

関西福祉大学

(3) 大学の位置

〒678-0255
兵庫県赤穂市新田380-3

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユカワ ヤスヨシ) 湯川 彌壽善 (平成23年4月)		
学長	(ヤスイ シュウサク) 安井 秀作 (平成22年10月)		
学部長	(アキカワ ヨウイチ) 秋川 陽一 (平成27年4月)	(カトウ アキラ) 加藤 明 (平成26年4月)	
学科長等			

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
発達教育学部 児童教育学科 学士(児童教育学)	4年	80人	0人 年次 人	320人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80	0.78倍
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	158 []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	136 []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	106 []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	63 []	() []		
入学定員超過率 B/A							0.78			

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[]		[]		[]		63		

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0 人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0 人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	63 人	0 人	平成26年度	人	人		0 %
合 計	63 人	0 人					0 %

2 授業科目の概要

<発達教育学部 児童教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	からだと健康	健康体育法	1 前	2								兼1	
		医学知識	3 前		2							兼1	
		レクリエーション論	2 後		2							兼1	
		運動の科学	2 後		2							兼1	
		生物学	3 前		2							兼1	
	ことばと情報		基礎総合英語	1 前	2								兼1
			英会話（基礎）	2 前	2								兼1
			英会話（応用）	2 後		2							兼1
			中国語	1 後		2							兼1
			手話（基礎）	2 後		2							兼1
			国語表現法	1 前		2							兼1
			情報科学	1 前	2								兼1
			情報処理	2 後		2							兼1
	地域と環境		統計学	2 前		2							兼1
			赤穂学	3 後		2							兼1
			ボランティア論	2 後		2							兼1
			ユニバーサル社会論	3 後		2							兼1
			地域社会学	2 前		2							兼1
			社会学	1 前		2							兼1
			化学	2 前		2							兼1
	社会と文化		物理学	1 後		2							兼1
			くらしと日本国憲法	1 前	2								兼1
			国際関係論	3 前		2							兼1
			哲学	2 後		2							兼1
			人間と宗教	2 後		2							兼1
			臨床への宗教学	2 前		2							兼1
	キャリア教育		生と死の教育	1 前		2							兼1
			キャリア形成Ⅰ	1 後	1								兼1
		キャリア形成Ⅱ	2 前		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	基礎理論	心理学概論	1	前	2			1					
		心理学基礎論	1	後		2			1				
		教職論	1	前		2		1					
		教育原理	1	後	2			1					
		教育哲学	2	前		2		1					
		保育原理	1	後	2			1					
		保育者論	1	前		2		1					
		教育心理学	1	後	2			1					
		教育社会学	2	前		2							兼1
		教育方法論	3	前		2		1					
	子どもの理解	保育の心理学	2	後		1							兼1
		家族支援論	3	前		2			1				
		幼児理解	1	後		2		1					兼1
		乳児保育	3	後		2				1			
		障がい児保育	2	前		2			1				
		児童福祉論	2	前		2							兼1
	基礎技能	音楽技術（基礎）	1	前		2		1					兼4
		音楽技術（応用）	1	後		2		1					兼4
		音楽表現（基礎）	2	前		2		1					兼4
		音楽表現（応用）	2	後		2		1					兼4
		図画工作表現（基礎）	1	後		2							兼1
		図画工作表現（応用）	3	前		2							兼1
		運動表現	2	前		2							兼1
	こころの発達と理解	発達心理学Ⅰ	1	前	2			1					
		発達心理学Ⅱ	1	後		2		1					
		青年期の発達心理	3	後		2			1				
		臨床心理学	2	前		2							兼1
		コミュニケーション心理学	1	後		2			1				
		心理療法	2	後		2							兼1
		認知心理学Ⅰ	2	前		2		1					
		認知心理学Ⅱ	2	後		2		1					
		カウンセリング概論	3	後		2							兼1
		精神保健学Ⅰ	2	前		2							兼1
精神保健学Ⅱ		2	後		2							兼1	
精神医学		2	前		4							兼1	
社会心理学		1	前		2			1					
心理測定法		2	前		4			1					
心理学基礎実験		2	後		2		1	1					
心理検査法実習	3	前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
児童の学習支援	国語	1	前		2		1						
	社会	1	後		2		1						
	算数	1	前		2		2						
	理科	1	後		2			1					
	生活	1	後		2			2					
	音楽	1	前		2		1						
	図画工作	2	前		2								兼1
	家庭	2	前		2								兼2
	体育	1	後		2		1						
	児童英語	1	後		2								兼1
	教育課程論	3	前		2								兼1
	国語科指導法	2	前		2		1						
	社会科指導法	2	前		2		1						
	算数科指導法	2	後		2		2						
	理科指導法	3	前		2			1					
	生活科指導法	2	後		2			2					
	音楽科指導法	2	前		2								兼1
	図工科指導法	2	後		2								兼1
	家庭科指導法	2	後		2								兼1
	体育科指導法	2	後		2		1						兼1
	道徳教育論	3	前		2		1						
	特別活動論	3	後		2								兼1
	生徒指導論	3	後		2				1				兼1
	教育相談	3	前		2			1	1				
	専門科目	社会的養護内容	3	後		1							兼1
		社会的養護原理	2	後		2							兼1
児童相談援助論		2	前		1							兼1	
保育課程論		3	前		2			1					
子どもの保健Ⅰ		2	後		4		1					兼1	
子どもの保健Ⅱ		3	後		1							兼1	
子どもの食と栄養		4	前		2							兼1	
社会福祉学原論		1	前	2								兼1	
幼児の発達支援		保育内容Ⅰ(総論)(A)	1	前		1			1				
		保育内容Ⅰ(総論)(B)	1	前		1			1				
		保育内容Ⅱ(健康)(A)	2	前		1		1					
		保育内容Ⅱ(健康)(B)	2	前		1		1					
		保育内容Ⅲ(人間関係)(A)	2	後		1			1	1			
		保育内容Ⅲ(人間関係)(B)	2	後		1			1	1			
		保育内容Ⅳ(環境)(A)	2	後		1				1			
		保育内容Ⅳ(環境)(B)	2	後		1				1			
		保育内容Ⅴ(言葉)(A)	2	前		1							兼1
		保育内容Ⅴ(言葉)(B)	2	前		1							兼1
		保育内容Ⅵ(音楽表現)(A)	3	前		1							兼1
		保育内容Ⅵ(音楽表現)(B)	3	前		1							兼1
総合発達支援	保育内容Ⅶ(造形表現)(A)	3	後		1							兼1	
	保育内容Ⅶ(造形表現)(B)	3	後		1							兼1	
	ヒトの発生と発達	1	後		2							兼1	
	子どもの教育とメディア	1	前		2							兼1	
	インクルーシブ教育	4	後		2			1				兼1	
	子どもの人権論	3	前		2		1						
レクリエーション実践論	2	後		2							兼1		
スクールソーシャルワーク論	4	前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実習 演習 科目	教育実習指導（小）	3 前		1		1	1	1		2	
	教育実習指導（幼）	2 後		1		1	1			2	
	教育実習Ⅰ（小）	3 前		2		1	1	1		2	
	教育実習Ⅱ（小）	3 前		2		1	1	1		2	
	教育実習Ⅰ（幼）	2 後		2		1	1			2	
	教育実習Ⅱ（幼）	2 後		2		1	1			2	
	保育実習指導Ⅰ	3 前		1			2	1		2	
	保育実習Ⅰ	3 後		4			2	1		2	
	保育実習指導Ⅱ	3 後		1			2	1		2	
	保育実習Ⅱ（保育所実習）	3 後		2			1	1		2	
	保育実習Ⅲ（施設実習）	4 前		2			1			2	
	大学入門演習Ⅰ	1 前	1			2	3	1			
	大学入門演習Ⅱ	1 後	1			2	3	1			
	教育基礎演習Ⅰ	2 前	1			4	4	1			
	教育基礎演習Ⅱ	2 後	1			4	4	1			
	教育専門演習Ⅰ	3 前	1			7	3				
	教育専門演習Ⅱ	3 後	1			7	3				
	教育・保育インターンシップ	2 通		1		2		1			
	教職実践演習（小・幼）	4 後		2		1	1	1			
	教職・保育実践演習（幼）	4 後		2		1	1	1			
卒業研究	4 通	2			9	5	2				

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 19	科目 116	科目	科目 135	科目 19 []	科目 116 []	科目 []	科目 135 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成26年5月1日現在において、未開講・廃止科目はない。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	37,358 m ²	0 m ²	0 m ²	37,358 m ²				
	運動場用地	19,531 m ²	0 m ²	0 m ²	19,531 m ²				
	小 計	56,889 m ²	0 m ²	0 m ²	56,889 m ²				
	そ の 他	3,915 m ²	0 m ²	0 m ²	3,915 m ²				
	合 計	60,804 m ²	0 m ²	0 m ²	60,804 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		17,044 m ² (17,044 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	17,044 m ² (17,044 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	17室	25室	9室	1室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学部全体			
	発達教育学部 児童教育学科		16 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の 共用分 図書約67,431冊 学術雑誌 219種 視聴覚資料 3,163点	
	発達教育学部	1,195 [145] (400 [60])	36 [11] (36 [11])	8 [8] (8 [8])	21 (21)	6677 (6,025)	0 (0)		
	計	1,195 [145] (400 [60])	36 [11] (36 [11])	8 [8] (8 [8])	21 (21)	6677 (6,025)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	915 m ²	168 席	72,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体				
	1,207 m ²	テニスコート 3 面							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員 1 人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	3,860千円	3,300千円	2,000千円	
		共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	241,518千円	10,000千円	3,150千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,250千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等							

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		関西福祉大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
発達教育学部 児童教育学科	年 4	人 80	年次 —	人 320	学士 <small>(児童教育学)</small>	倍 0.78	平成 26年	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
社会福祉学部 社会福祉学科	年 4	人 100	年次 3年次 5名	人 410	学士 <small>(社会福祉学)</small>	倍 0.66	平成 9年	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
看護学部 看護学科	年 4	人 80	年次 3年次 10名	人 340	学士 <small>(看護学)</small>	倍 1.19	平成 18年	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
大学 の 名 称		関西福祉大学大学院							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
社会福祉研究科 社会福祉専攻	年 2	人 5	年次 —	人 10	修士 <small>(社会福祉学)</small>	倍 0.50	平成 21年	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
看護学研究科 看護学専攻	年 2	人 6	年次 —	人 12	修士 <small>(看護学)</small>	倍 0.83	平成 23年	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	

5 教員組織の状況

<発達教育学部 児童教育学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					設置時の計画					備考
専任・兼任・兼任の別	職位	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職位	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	アキカ 秋川 陽一	平成27年4月	保育原理 保育者論 子どもの人権論 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究						
兼任	講師	アキカ 秋川 陽一	平成26年4月	保育原理 保育者論						
専	教授	イワサキ 岩田 一彦	平成26年4月	社会 社会科指導法 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	オヤマ 大山 摩希子	平成26年4月	教育心理学 幼児理解 ※ 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 認知心理学Ⅰ 認知心理学Ⅱ 心理学基礎実験 大学入門演習Ⅰ 大学入門演習Ⅱ 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育・保育インターンシップ 卒業研究						
専	教授	カノウ 加藤 明	平成27年4月	教職論 教育方法論 算数※ 算数科指導法※ 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	カノウ 加藤 明	平成26年4月	教職論 教育方法論 算数※ 算数科指導法※ 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究	就任予定年月を平成27年度4月から平成26年4月に変更
兼任	講師	カノウ 加藤 明	平成26年4月	教職論 算数※						
専	教授	カミハラ 菅原 稔	平成26年4月	国語 国語科指導法 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	ハツリ 服部 伸一	平成26年4月	体育 体育科指導法 ※ 子どもの保健Ⅰ※ 保育内容Ⅱ(健康)(A) 保育内容Ⅱ(健康)(B) 教育実習指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 教育・保育インターンシップ 教職・保育実践演習(幼) 卒業研究						

専	教授	フルヒ トオ 古瀬 徳雄	平成26年4月	音楽技術 (基礎) 音楽技術 (応用) 音楽表現 (基礎) 音楽表現 (応用) 音楽 卒業研究						
専	教授	モリカ ナオ 森川 直	平成26年4月	教育原理 教育哲学 道徳教育論 教育専門演習 I 教育専門演習 II 卒業研究						
専	教授	ヤマモト ヒロカズ 山本 博和	平成26年4月	算数※ 算数科指導法※ 教育実習指導 (小) 教育実習 I (小) 教育実習 II (小) 大学入門演習 I 大学入門演習 II 教育基礎演習 I 教育基礎演習 II 教育専門演習 I 教育専門演習 II 教職実践演習 (小・幼) 卒業研究						
専	准教授	イノウエ ヒサミ 井上 寿美	平成26年4月	教育相談 ※ 保育内容Ⅲ (人間関係) (A) ※ 保育内容Ⅲ (人間関係) (B) ※ 教育実習指導 (幼) 教育実習 I (幼) 教育実習 II (幼) 保育実習指導 I 保育実習 I 保育実習指導 II 保育実習 II (保育所実習) 教育専門演習 I 教育専門演習 II 教職・保育実践演習 (幼) 卒業研究						
専	准教授	オウカ トモミ 大和田 智文	平成26年4月	心理学概論 心理学基礎論 青年期の発達心理 コミュニケーション心理学 社会心理学 心理測定法 心理学基礎実験 大学入門演習 I 大学入門演習 II 教育基礎演習 I 教育基礎演習 II 卒業研究						
専	准教授	オノ マサミ 小野間 正巳	平成26年4月	生活※ 生活科指導法※ 教育実習指導 (小) 教育実習 I (小) 教育実習 II (小) 大学入門演習 I 大学入門演習 II 教育基礎演習 I 教育基礎演習 II 教職実践演習 (小・幼) 卒業研究						

専	准教授	カザリ ミドリ 金沢 緑	平成26年4月	理科 理科指導法 生活※ 生活科指導法※ 大学入門演習Ⅰ 大学入門演習Ⅱ 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	ヨシケリ ユキコ 米倉 裕希子	平成26年4月	家族支援論 障がい児保育 インクルーシブ教育 ※ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ (施設実習) 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育専門演習Ⅰ 教育専門演習Ⅱ 卒業研究						
専	講師	イチハシ マチ 市橋 真奈美	平成26年4月	生徒指導論 ※ 教育相談 ※ 教育実習指導 (小) 教育実習Ⅰ (小) 教育実習Ⅱ (小) 大学入門演習Ⅰ 大学入門演習Ⅱ 教育基礎演習Ⅰ 教育基礎演習Ⅱ 教育・保育インターンシップ 教職実践演習 (小・幼) 卒業研究						
専	講師	ハラコ ジュン 原子 純	平成26年4月	乳児保育 保育課程論 保育内容Ⅰ (総論) (A) 保育内容Ⅰ (総論) (B) 保育内容Ⅲ (人間関係) (A) ※ 保育内容Ⅲ (人間関係) (B) ※ 保育内容Ⅳ (環境) (A) 保育内容Ⅳ (環境) (B) 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ (保育所実習) 教職・保育実践演習 (幼) 卒業研究						
兼任	准教授	アリタ ノブヒロ 有田 伸弘	平成26年4月	くらしと日本国憲法						
兼任	教授	ウエノ ヒロユキ 上野 輝夫	平成26年4月	児童英語 基礎総合英語						
兼任	教授	カガタ ヨシキ 勝田 吉彰	平成26年4月	国際関係論 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神医学						
兼任	准教授	クラタ セツコ 倉田 節子	平成26年4月	ヒトの発生と発達						
兼任	准教授	コンドウ テツオ 近藤 哲郎	平成26年4月	社会学						
兼任	教授	サエキ フミキ 佐伯 文昭	平成26年4月	保育の心理学 幼児理解 ※ 児童福祉論 臨床心理学 スクールソーシャルワーク論						

兼任	講師	カハシ ヒトシ 高橋 均	平成26年4月	教育社会学 子どもの教育とメディア						
兼任	准教授	カムラ タケ 中村 剛	平成26年4月	生と死の教育 社会福祉学原論						
兼任	教授	ヒラマツ マサミ 平松 正臣	平成26年4月	赤穂学						
兼任	講師	マンダ イ ユキ 萬代 由希子	平成26年4月	ボランティア論						
兼任	教授	ミゾヘ マサカズ 溝邊 雅一	平成26年4月	化学						
兼任	准教授	ヤギ シュウジ 八木 修司	平成26年4月	心理療法 カウンセリング概論 児童相談援助論 インクルーシブ教育						
兼任	講師	アカキ マサノリ 赤木 正典 (77)	平成26年4月	社会的養護内容 社会的養護原理						
兼任	講師	アサチ ミル 足立 稔 (51)	平成26年4月	体育科指導法 ※						
兼任	講師	イハラ キョウコ 石原 享子	平成26年4月	音楽技術（基礎） 音楽技術（応用） 音楽表現（基礎） 音楽表現（応用）						
兼任	講師	エノモト ヒロキ 榎本 英樹	平成26年4月	レクリエーション論 レクリエーション実践論						
兼任	講師	オトミ ヨシユキ 奥富 庸一	平成26年4月	健康体育法 運動表現						
兼任	講師	カミケンジ 勝見 健史 (50)	平成26年4月	教育課程論						
兼任	講師	カヤマ カズヒコ 金山 和彦	平成26年4月	保育内容Ⅶ（造形表現）(A) 保育内容Ⅶ（造形表現）(B)						
兼任	講師	コヤマ ノリコ 古山 典子	平成26年4月	音楽科指導法						
兼任	講師	サカモト ヒデアキ 坂本 英夫	平成26年4月	心理検査法実習						
兼任	講師	サトウ キコ 佐藤 希代子	平成26年4月	家庭 ※						
兼任	講師	サトウ ユウコ 佐藤 裕子	平成26年4月	音楽技術（基礎） 音楽技術（応用） 音楽表現（基礎） 音楽表現（応用）						
兼任	講師	サノ トモキ 佐野 智行	平成26年4月	情報科学 情報処理						
兼任	講師	シバ エリ 柴 英里	平成26年4月	家庭 ※						
兼任	講師	シバタ ヨウコ 柴田 陽子	平成26年4月	家庭科指導法						
兼任	講師	シギタ イロハ 杉田 郁代	平成26年4月	生徒指導論 ※						
兼任	講師	タカキ マサフミ 高木 学	平成26年4月	地域社会学						

兼任	講師	ひろ ジュン 田村 淳	平成26年4月	生物学						
兼任	講師	デービッド・レモンド DAVID LEMMOND	平成26年4月	英会話（基礎） 英会話（応用）						
兼任	講師	トミカ シノブ 富永 しのぶ	平成26年4月	子どもの食と栄養						
兼任	講師	ナカノ サヨコ 中野 佐世子	平成26年4月	手話（基礎）						
兼任	講師	ナガオ ユウコ 長尾 裕子	平成26年4月	キャリア形成Ⅰ キャリア形成Ⅱ						
兼任	講師	ノノウエ ケイ 野々上 敬子	平成26年4月	子どもの保健Ⅰ ※ 子どもの保健Ⅱ						
兼任	講師	ノムラ キエ 野村 公江	平成26年4月	保育内容Ⅵ（音楽表現）(A) 保育内容Ⅵ（音楽表現）(B)						
兼任	講師	ハセ キヨコ 長谷 起世子	平成26年4月	医学知識						
兼任	講師	ハトリ ユキ 服部 有希子	平成26年4月	音楽技術（基礎） 音楽技術（応用） 音楽表現（基礎） 音楽表現（応用）						
兼任	講師	ハヤシ ソウタロウ 林 聡太郎	平成26年4月	運動の科学						
兼任	講師	ヒラタ マサコ 平田 雅子	平成26年4月	物理学						
兼任	講師	フジモト タケヤ 藤本 拓也	平成26年4月	臨床への宗教学						
兼任	講師	フジモト ヨウゾウ 藤本 陽三	平成26年4月	図画工作 図工科指導法						
兼任	講師	マツオ ヒロコ 松尾 寛子	平成26年4月	保育内容Ⅴ（言葉）(A) 保育内容Ⅴ（言葉）(B)						
兼任	講師	マツダ トモコ 松田 智子	平成26年4月	特別活動論						
兼任	講師	マツモト シゲル 松本 滋	平成26年4月	ユニバーサル社会論						
兼任	講師	モリ ヤヨイ 森 弥生	平成26年4月	図画工作表現（基礎） 図画工作表現（応用）						
兼任	講師	ミヤベ ヨウタロウ 宮本 要太郎	平成26年4月	人間と宗教						
兼任	講師	ミヨシ ヒロト 三好 弘人	平成26年4月	統計学						
兼任	講師	モリト マホ 森本 満穂子	平成26年4月	音楽技術（基礎） 音楽技術（応用） 音楽表現（基礎） 音楽表現（応用）						
兼任	講師	ヤマガチ ノブオ 山口 信夫	平成26年4月	哲学						
兼任	講師	ヨシダ クミコ 吉田 久美子	平成26年4月	中国語						

兼任	講師	ワカ 和田 典子	平成26年4月	国語表現法						
----	----	-------------	---------	-------	--	--	--	--	--	--

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9	5	2	0	16	9	5	2	0	16	65	3
(7)	(5)	(2)	(0)	(14)	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	歳	名

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	なし		
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時</p> <p>(平成25年10月)</p>	<p>1. 養成する人材像において「地域との連携や他者との連携ができる人材」を掲げており、フィールドワークを実施する計画であるが、本学科のキーワードとなっている「発達支援」や「学習支援」とどのように関連するのか不明であることから、教育上関連付けた計画を立てた上でその計画を着実に実行すること</p> <p>2. 「理科」と「理科指導法」の違いについて、授業科目の概要とシラバスとが整合していない部分があることから、シラバスに沿った内容となるよう授業科目の概要を修正し、それぞれの科目の違いが明らかになるようにすること。</p> <p>3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、策定した教員組織編製の将来構想を着実に実行すること。</p>	<p>平成27年度2年次より開講する「教育基礎演習」において実施するフィールドワーク等の実施準備について、「地域との連携や他者との連携ができる人材」を養成すべく教務委員会が中心となって取り組みを行っている。</p> <p>授業科目内容を科目名称に応じた内容に改めるため、当該科目の授業計画（シラバス）を別紙のとおり変更した。</p> <p>後任者たる専任教員の円滑な補充及び該当分野及び科目を担当し得る教員の育成について、学長のリーダーシップのもと、教務委員会及びFD委員会を中心となって取り組みを行っている。</p>	<p>該当なし</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p>

7 その他全般的事項

<発達教育学部 児童教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学のFD活動に関することを審議する場として、全学共通委員会としてFD委員会を設置している</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月1回の開催を原則とし、必要に応じて臨時開催する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 委員会の審議事項（任務）等は以下のとおりである。 <FD委員会></p> <p>(a) FD活動の企画立案 (b) FD活動の評価 (c) FD活動に関する情報の収集と提供</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(a) 授業内容・教育方法（教材開発を中心に）改善のための研修会 (b) 指導法・教育技法などに関するディスカッション (c) 学生による授業評価アンケート</p> <p>b 実施方法 平成26年度第1四半期中に実施計画を策定し、計画に従って実施していく。 この際、優先順位を至当に定め、その優先順位に基づく実施に留意する。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 同上</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施成果については、速やかに共有し共通理解を深めるとともに、各々が授業改善に反映させる。 また、実施結果を活用して、教員間の相互啓発や研究活動の活性化を図り、各教員の授業改善への意識付けを強化していく。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 実施する。実施時期は授業の前半が終了するまでの期間及び最終日に行う。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 評価結果については、実施の都度教員に確認させる。 FD委員会を中心に分析を行い、各教員より、速やかに授業改善に反映させ、改善内容を学生に伝える</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>教育・保育に関わる豊かな人間性を持った有能な人材を育成する設置の趣旨・目的や教育研究上の理念を達成・具現化するため、設置計画に沿って運営を開始できた。今後、本格的な運営を推進していくにあたっては、学長のリーダーシップのもと、設置の趣旨・目的の確実な達成に向けた取り組みを実践していく。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年度中に平成25年度の内容について公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、地方自治体（兵庫県赤穂市）や近隣大学に送付する。・大学附属図書館の書架に設置し、学生や図書館を利用する近隣住民が事由に閲覧できる環境を作る。・大学ホームページ上に公開予定・大学の全教職員が閲覧できるよう、学内イントラネット上に掲載する。 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度に評価機関（財団法人日本高等評価機構）の評価受審予定
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (有 ・ <input type="checkbox"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年 8月 1日)</p>
--